

学校のSDGsについての取組様式



足立区教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

足立区新田学園 校長名 土肥 和久

取組, 1 9年間のゴールを見据えた指導（質の高い教育をみんなに）



9年間で発達段階に応じたⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期のまとまりに分け、各期においてねらいと重点を明確に指導していく。全教職員が9年間のゴールを意識して指導に当たる。授業では、全学年・全教科が足立スタンダードに則った授業を展開することで、基礎学力の定着と思考力、判断力の育成を図っていく。

取組, 2 基礎基本の学力を定着させる（貧困をなくそう）



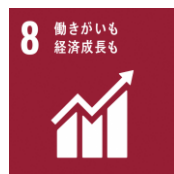
朝、放課後合わせ、30分の学力補充の時間を確保し、学校態勢で学力の底上げを図る。Ⅱ・Ⅲ期では、5教科による学習コンテストを実施し、児童・生徒に目標に達成する成就感を味わわせる。基準点に達しなかった児童・生徒には、放課後補充の時間で復習させ、基礎基本の定着を図る。また、Ⅱ期（小学部5年生）から定期考査を行うことで、自ら学ぶ態度を育成する。

取組, 3 異年齢集団との関わりの充実（人や国の不平等をなくそう）



小中一貫教育校としての特性を生かし、異年齢集団との関わりを充実させる。Ⅱ・Ⅲ期合同で行う体育祭や文化発表会、国際コミュニケーション科の発表会、小学部と中学部の特別支援学級の交流授業等を通じて、上級生への憧れや目標をもたせ、互いを認め合い、尊敬し合える関係性を築かせる。

取組, 4 自己実現の達成に向けて（働きがいも経済成長も）



Ⅰ期4年生からレンジャー活動（委員会活動）を行うことで、自分の仕事に責任をもって取り組む力を養う。Ⅱ期7年生で行う職業調べを通して、将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返らせる。Ⅲ期8年生で行う職場体験では、3日間の経験を通し、質的な知識や技術に触れることで、学ぶことや働くことの意義を実感させていく。